

小中連携通信

いわき市立
玉川中学校
小名浜第三小学校

令和5年度
11月吉日発行
教務主任委員会

寒気いよいよ厳しい季節となりました。保護者の皆さまにはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から学校教育へご協力いただきありがとうございます。

11月17日（金）に玉川中学校において、第2回小中連携授業参観および情報交換会を実施しました。その様子を保護者の皆様にお伝えいたします。

（1）玉川中学校での授業参観

玉川中1年生～3年生の通常学級と特別支援学級で授業を行い、その様子を小名浜三小の先生方に参観して頂きました。生徒は三小の先生方の来校を心待ちにしておりました。授業後に小学校の先生と生徒達が言葉を交わしている様子がとても印象的でした。

〔1年生 国語の授業の様子〕



〔2年生 体育の授業の様子〕



〔3年生 理科の授業の様子〕



〔3年生 道徳の授業の様子〕



（2）全体会

全体会では、小学校の大平校長先生から、各クラスの授業に取り組む姿勢や子ども達の1年ごとの成長の大きさについてお褒めの言葉をいただきました。

また、中学校の角田校長先生より、学力日本一の秋田県の小中学校を視察した際の報告資料をもとに、「小中連携からできる学力向上」についての講話が行われました。

（3）情報交換分科会

〔情報交換を行う先生方〕

最後に学力向上委員会、生徒指導委員会、体育・保健衛生委員会、特別支援委員会の各分科会で小中の先生方が情報交換を行いました。その中で、小学校と中学校の間で連携すべきことや課題がいくつか見えてきたのでご紹介いたします。

- 小中9年間を通して学力向上のキーワードとして、家庭学習の習慣化の工夫が挙げられる。
- ICTをより効果的に活用するために、定期的なタイピングの練習を取り入れる必要がある。
- 頭髪や服装などの生活面において、小学校高学年からは中学校生活を見据えた意識を持たせることも大切である。
- 小学校では、体育の授業内で「運動身体づくりプログラム」を全学年全学級で実施したことにより、スポーツテストの結果に反映された。
- 体力向上については、いかに子ども達に目標を持たせて継続的に取り組んでいくかが課題である。

